

第1学年 道徳科指導展開例

- 1 主題名 生活しやすい社会の形成とマナーを守る大切さ
- 2 内容項目 C—遵法精神、公德心 (関連項目 D—自然愛護、C—国際理解、国際貢献)
- 3 教材名 だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して 「ごみ箱をもっと増やして」

4 ねらい(視点)

・価値観

街中のごみ箱を増やすかどうかの話合いを通して、誰もが気持ちよく生活できるよりよい社会にするために、自分はどうしたらよいか考え、それを実践する態度を養う。自分たちが社会の構成員の一人であることの意識をもちながら、「私」を大切にすると「公」を大切にすると心との関係について考えを深めていくことが望まれる。

・生徒観

近年はICT機器が普及し、家にいながら近所の友人はもちろんのこと世界中の人とやりとりができるようになり、外出する機会は減っている。札幌市内の中学生にも同じことが言え、外に出て遊ぶという活動が少なくなっている。こうした状況にあることから、普段の生活の中で、街中にごみ箱が設置されているかどうかということについてもあまり考えられていないと思われる。住んでいる地域の現状を今一度確認し、街中にごみ箱の設置についての賛否を考えていく。

・教材観

本教材は、とある新聞への投稿とそれに対する3つの意見で構成されている。投稿者が短期留学で行った米国にはごみ箱が多かったが、日本には少なく不便に感じている。ごみを持ち帰る啓発ポスターも目にするが、草むらなど人目につかない所には、ごみがポイ捨てされている。このことから、街にもっとごみ箱を増やしたほうがよいのではないか、と投稿者は思っている。この投書に対して、「観光名所や公園に設置してほしい」「ごみ箱の完全撤去を望む」「環境を守るためにごみは持ち帰ろう」という意見が寄せられた。賛成する投書、反対する投書、それぞれの意見を参考にしながら自分自身の考え、友人の考えに触れることを通してねらいについて考える教材である。

5 本時の展開

	発問と児童生徒の活動	評価・留意点
導入	<p>○道を歩いていて、ごみが落ちていたらどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見なかったことにする。 ・拾って近くのごみ箱に捨てる。 ・草むらとか見えないところに動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけすぎないように留意する。
展開	<p>※教師が範読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>公共の場にあるごみ箱はどうあるべきか。</p> </div> <p>○誰の意見に自分の考えが一番近いですか。それはなぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投書 海外の人に日本の常識を求めるときではない ・A 旅行をした時に「持ち帰れ」はひどい ・B 税金の無駄遣いだから ・C 日本人の美德を感じさせるから <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ごみ箱を増やすことに賛成ですか。反対ですか。また、なぜですか。 【中心発問】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●ネームプレートを用いて、賛成寄りか反対寄りを黒板の心情線上に貼る。 ●同じような考えをもった生徒同士でグループ（3～4人）を作り、改めて課題について自分の考えを基にグループで話し合い、その内容をホワイトボードに書く。そしてそのホワイトボードを黒板に貼り、全体交流する。 <p>賛成寄りの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱が多ければ、ごみを道に捨ててしまう人も、ゴミ箱にゴミを捨てるかもしれないから。 ・近くにゴミ箱があれば、ごみが道に落ちていても拾って捨てようと思える。ゴミ箱がなければ、やっぱりごみを見過ごしてしまうと思う。 <p>反対寄りの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30m毎にごみ箱があるのがきれいな街とは思えないから。 <p>○ごみのない街、よりよい社会にしていこうためにはどんなことが大切ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそもごみを捨てないという自覚 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情線を使うことで周りの生徒の考えを可視化する。 ・ごみのポイ捨てが良いか悪いかではなく、捨てること自体がいけないということに気付くよう指導を進める。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ●今日の課題（中心発問）について、他者の意見を検討した上で、再度自分の考えを書く。また、授業を受けて、思ったことや考えたことも書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆社会の構成者の一人として、よりよい社会をつくっていこうという意欲を高める。 ☆身近な環境問題を通して環境保全の意義について考える。</p> </div>	

18 ごみ箱をもっと増やして (教科書 p.83~85)

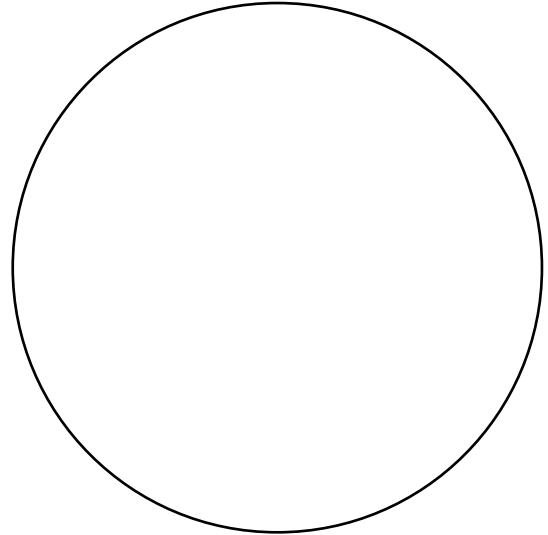
学習日 年 月 日

組 番 名前

問い：あなたの考えは誰の意見に近いですか。
(自分の考え)

A ・ B ・ C

理由



ごみ箱設置について賛成か反対か

問い：



つぶやき



ふり返ってみよう

1 教材について、興味をもって読めたか？	A B C D
2 自分の考えを伝えることができたか？	A B C D
3 友達の考えを聞くことができたか？	A B C D
4 授業の内容について、深く考えることができたか？	A B C D

A：意欲的にできた B：できた C：あまりできなかった D：できなかった